

ひまわり

NO. 1

夏休みが、始まりました。一学期は、三浦先生と松尾先生が授業を提供してくださいました。ありがとうございました。研修便りでは、研修協議会で出た意見等を記載しますので、今後の参考にしていただけたら幸いです。

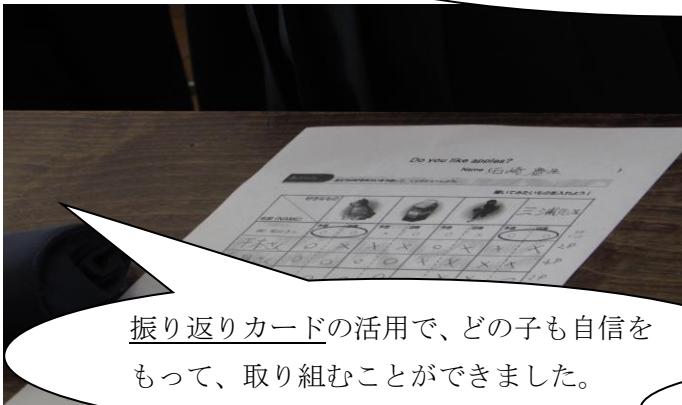
三浦先生の外国語活動

①日時 平成30年6月20日（水）第5校時 （5年1組）

②授業の様子



視聴覚機器や絵カードの活用で、集中力のアップをはかりました。



振り返りカードの活用で、どの子も自信をもって、取り組むことができました。

ペア学習を行い、発話を促しました。

- (視点) ①本時の活動は、「かかわり合い」の手立てとして適切だったか。
 ②「I like ~.」「Do you like ~?」の表現が定着していたか。
 ③視覚的教材が有効に活動できていたか。
 ④その他

③成果（研究協議会において）

- ①・児童の声の大きさがよい。
 ・Activity が、活発、積極的に行われていた。
 ・Activity で、質問事項が自分で選べる、考えられるのがよかった。
- ②・多くの単語を使って「like」の練習をさせていた。

- ・繰り返し練習が、表現を定着させていた。
- ・ワークシートを準備するとともに、活動の手順がていねいに説明されていた。
- ・「Who am I?」の活動は、児童に興味をもたせていた。
- ・カードを使ったトレーニングは繰り返し口に出すことで定着していく。

③・ルール説明がわかりやすかった。

④・クラス全体が明るく、先生の児童も笑顔がいっぱいでよい。担任とのやりとりもよく、ペア学習もあきずにできていた。

- ・子供たちのパワーを引き出す教師のインフォーマルな英語がよい。テンポもよかった。

④課題（(研究協議会において)

①・楽しい雰囲気の中で行われているが、全体がざわついている。メリハリが必要だ。

- ・聞く態度を育てなければならない。
- ・友達が好きなものを予想する意図が分からなかった。たくさんの人に話しかけることが目的であると思う。
- ・ペア以外の人と話す場面があってもよかったと思う（自分が好きなものと同じものを好きな人を探すなど）。
- ・もう少し発展的な（自分で考えるような）授業になっていくとよい。

②・英語を使う楽しさよりも、ゲームの楽しさのほうが大きくなっていった。

- ・英語以外の、関係のない私語が多かった。これをどうさばくのか。
- ・「Who am I?」の活動では、指示や発問がやや通ってないことがあった。
- ・日常の生活（学校や家庭）でも、楽しく活用させたらよいと思う。
- ・相手に尋ねる Activity は、一人3～4回でよかったのではないか。
- ・答えるとき、Yes, No のあとに、「I like ～.」もきちんと言わせるとよい。
- ・「How are you?」や「Do you like ～?」の練習のあとに、隣の児童に使ってみてのいいのではなかったか。児童は、使ってみたいのではないか。
- ・表情での表現も必要だと思う（don't like のときも笑顔だった）。
- ・ついていけない児童へのフォローが必要だった。
- ・月日・曜日・天気等、It's～をつけて言わせるとよい。
- ・練習から activity へのつながりが感じられなかった。
- ・一人ずつ言わせることで、定着を確認することができる。
- ・英語を話す時間が少なかった。
- ・プリントから目を離して話すように声かけをしていくとよい。

③・デジタルを使って、英語の説明にするとよいのではないか。

- ・画面が小さく分かりづらかった。
- ・説明したあと、それが画面に残るようにしておくともっとよく分かる。
- ・もっと映像を映し出すなど、活用できたように思う。

④・「めあて」の英語は、「Today's goal」なのだろうか。Goal ならば、到達地点が明示される。

- ・一つひとつの活動の間が長かったので、タイマーなどを使ってコントロールするとよい。
- ・活動の説明、準備に時間がかかりすぎ、テンポが悪くなった。
- ・classroom English をしっかり使っていたり、デモンストレーションを児童にさせたりするとよい。
- ・小学校から中学校への移行をどうするか。

⑤次回にむけて、取り入れたいこと

- ・どの子も楽しく外国語活動に参加していました。英語において、小学校から中学校への移行に課題がでていましたが、「FUN!FUN!ENGLISH」（マレル由佳先生発行）にそった指導展開を提案してくださり、ありがとうございました。

松尾先生の国語

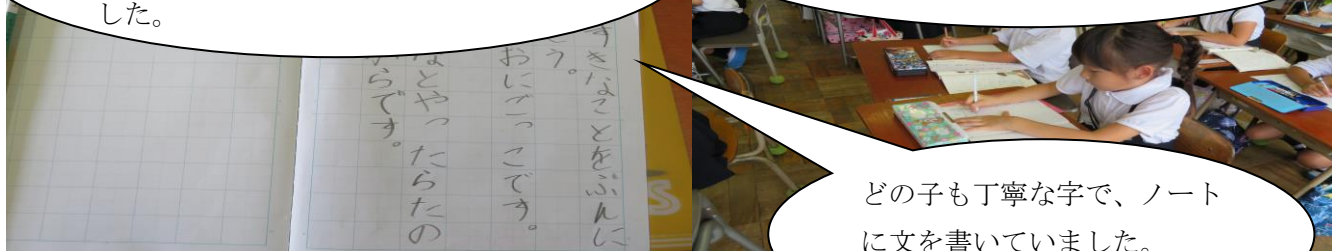
①日時 平成30年7月5日(木) 第2校時 (1年1組)

②授業の様子



黒板の前に集合することで、先生の指示を聞き漏らさずに聞くことができました。

発表した子が、次の子を指名することで、連帯意識が身につきました。



どの子も丁寧な字で、ノートに文を書いていました。

(視点) ①本時は、好きなことを書いて知らせることに興味を持ち、意欲的に取り組む活動になっていたか。

②どの子も教科書の例文に準じて、理由がわかるように書いていたか。

③どの子も主語と述語の関係に注意し、句読点を正しく用いて書いているか。

④その他

③成果 (研究協議会において)

- ①・前に集まり、そこで発表する方法は、子供に聞かせる発表になっている点が良い。
 - ・全員発表・・・声がよく出ていた。
- ②・筆圧をかけて整った文字が書けている。
- ③・文を書くのは、前の「好きなことなかに」に次いで二度目でありよく書いていた。
- ④・学習規律が身に付いていて、落ち着いて学習している。指示にすぐに反応している。合言葉が良い。
 - ・詩の暗唱もよかった。

④課題 ((研究協議会において))

- ①・できていない子には、口頭指示より具体的なものとわかりやすい。
 - 黒板の例を見てやるのは、高度である。
- ②・書く量が増えるとスピードに差が出る。どこまで丁寧にすればいいのか。
 - スタートが遅れないようにさせる。
- ③・主語と述語の呼応が難しい子がいた。
 - 「ぼくの好きなことは、」「ぼくは、」のどちらかにそろえるとよかった。
 - ぼくは、うたをうたうことです。のような例を取り上げて、全体で考えさせるとよかった。

⑤次回にむけて、取り入れたいこと

- ・黒板の前に集合し子ども達が真剣に指示を聞いていました。どの子もノートの字が丁寧でした。ありがとうございました。